

美術館評価調書

(その1)

帯広美術館

【基本的運営方針】 A 優れた作品の収集と保管

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
コレクションの活用状況	コレクションの稼働率	16.0%	7.1%	44.4%	c	コレクション・ギャラリーでは大型作品の出品が多かったため、出品点数は少なくなった。 また、主展示室での所蔵作品を用いた展示がなかったため、達成率は低くなっている。
	所蔵作品を他の美術館企画展で活用					
コレクションの充実度	収集方針に基づき、主体性を持ち積極的に収集活動を行う				b	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は作品購入枠を確保し、新規に1点の作品を購入した。また、当館の収集分野の作品合計23点の寄贈を受けた。 ・今後も引き続き収集対象作家や作品の調査及び地域で活動する作家を紹介する事業を継続していく。
保管状況の適切さ	適正な保管環境を保持し、必要な調査に基づき措置を行う 計画的に所蔵作品の修復を行う				b	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な保管環境を保持するため、温湿度管理設備の設備委託業者と連携をとり、必要に応じ定期的に補修・メンテナンスを行った。 ・今年度、新規収蔵作品および既存収蔵作品多数の額装を行い、作品自体の展示・保管環境の整備に務めた。

【基本的運営方針】 Aの評価

評価	コメント（評価の考え方）
B	<ul style="list-style-type: none"> ・コレクションの効果的な活用と適切な保存管理に努めている。 ・収集活動については、調査研究を進めてきた作品の受贈により、コレクションの充実を図ることができた。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

美術館評価調書

(その2)

帯広美術館

【基本的運営方針】 B 多彩で特色ある展示活動の充実

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
常設展示の充実度	常設展示観覧者数	28,000人	22,377人	79.9%	b	コロナ禍により観覧者数は目標に達しなかったものの、満足度やリピート率は高かった。
	常設展示観覧者の満足度	89.0%	92.9%	104.4%		
	常設展示のリピート率	26.0%	33.0%	126.9%		
特別展示の充実度	特別展示の観覧者数	48,000人	41,433人	86.3%	b	・コロナ禍により観覧者数は目標に達しなかったものの、満足度は高かった。 ・特別展示では、目当ての展覧会のみを観覧するための来館者が多い傾向にあり、リピート率の向上につながらなかった。
	特別展示観覧者の満足度	94.0%	97.2%	103.4%		
	特別展示のリピート率	30.0%	28.3%	94.3%		
入館者の拡充	美術館の魅力を広め入館者増につながる取組の実施				c	リモートミュージアムによる展覧会の紹介や、コンサートなどのイベント開催により、鑑賞以外の楽しみ方を提供するなど、美術館の魅力の発信に努めた。
展示の状況	展示のねらいが効果的に表現できているか				c	各種展覧会の特性に合わせ、企画のコンセプトと作品の魅力を伝えられるよう、SNS（Facebook）やローカルメディアを活用した。
館外展示の充実度	移動美術館入場者満足度	(設定なし)			c	今年度は4館で開催された展覧会出品のために計12点の作品を貸出した。
	その他の館外展示の状況					

【基本的運営方針】 Bの評価

評価	コメント（評価の考え方）
C	観覧者数の目標は達成できなかったが、満足度が高かった。今後もよりよい展示、魅力の発信に努め、リピート率を上げていきたい。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

美術館評価調書

(その3)

帯広美術館

【基本的運営方針】 C 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
教育普及事業の充実度	教育普及プログラムの実施数	60回	92回	153.3%	b	教育普及プログラムの実施においては、コロナ禍において人数制限を設けたが回数を増やすなど、運営面を改善し参加機会の確保を図った。 また、感染者数が少なく、規制が少なかった時期に実行委員会展関連事業を開催したため、多くの参加者数を数えた。
	教育普及プログラムの参加者数	5,000人	10,555人	211.1%		
	教育普及プログラムの満足度	96.0%	92.6%	96.5%		
	教育普及事業の状況					
美術情報提供の充実度	ARS、図書コーナーの利用者件数	設定なし			c	図書コーナーの利用なし（新型コロナウイルス感染症対策により希望者のみ対応）
	ARS、図書コーナーの利用者満足度	設定なし				
	多くの来館者が利用できる図書コーナーの環境整備・保持					
	HPアクセス件数	130,000件	210,936件	162.3%		<ul style="list-style-type: none"> ・7月にホームページをリニューアルし、掲載内容を充実させた効果もありアクセス件数が増えた。 ・ソーシャルメディアの投稿数は目標に達しなかったが、展覧会の紹介や、イベント開催の周知など効果的な投稿に努めた。 ・上記のほか、地方紙や情報誌への記事掲載、テレビやラジオの活用など、情報発信に努めている。
	メールマガジン等発行回数	(実施なし)				
	ソーシャルメディアの投稿数	120回	68回	56.7%		
	情報発信の状況					

【基本的運営方針】 Cの評価

評価	コメント（評価の考え方）
B	コロナ禍においても開催時期や開催方法を検討し、指標値以上の回数、参加者を確保することができた。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

美術館評価調書

(その4)

帯広美術館

【基本的運営方針】 D 活動の基礎となる調査・研究の推進

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
調査・研究の充実度	学芸員による調査報告	/	/	/	b	展覧会の企画及び作品収集にあたっては、学芸員による当該作品の緻密な調査・研究が不可欠であり、継続した調査の結果、特別展「道東アートファイル2022」展を開催し、担当学芸員の執筆、編集による図録を作成できた。
	二次資料の状況	/	/	/		・作家資料や図書資料等は、寄贈を含め継続的に収集・整理し充実を図っている。 ・収納スペースの狭隘化に伴い、適切な整理を行うことが課題となってきている。

【基本的運営方針】 Dの評価

評価	コメント（評価の考え方）
B	道東地域ゆかりの作家・作品について地道な調査を続けた。その結果、昨年度に引き続き2年連続して、当館で図録を編集発行する特別展を実施することができた。作家資料や図書資料等は、寄贈を含め継続的に収集・整理し、充実が図られた。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

美術館評価調書

(その5)

帯広美術館

【基本的運営方針】 E 地域文化の振興

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
地域の関係機関との連携状況	ボランティア団体等の主体的な事業の参加者数	110人	71人	64.5%	c	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による事業の中止に伴い、指標値に達しなかった。 ・感染対策のため、ボランティアの活動時間を短縮する措置をとったが、美術館と連携することで運営に支障はなかった。 ・緑ヶ丘公園内の施設と連携し事業を実施するなど、園内施設の利用促進とともに、美術館利用者層の拡大を図った。
	ボランティアが活動しやすい場の提供					
	地域と連携した取組の状況					
学校との連携の状況	キャンパスパートナーシップのメンバー校数	1校	1校	100.0%	c	帯広大谷短期大学 利用者延べ47人 <ul style="list-style-type: none"> ・出前授業、インターンシップの受入れのほか、アートカードの貸し出しにより学校教育活動を支援している。
	出張アート教室の延べ参加者数	80人	27人	33.8%		
	指導者研修の延べ参加者数	10人	実施なし	—		
	学校教育活動への対応数	11件	12件	109.1%		
	参加者・利用者満足度					

【基本的運営方針】 Eの評価

評価	コメント（評価の考え方）
C	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係機関や団体と連携し、美術館活動の充実を図っている。 ・美術館の活用方法の周知や独自教材の開発により、更なる学校教育との連携を図る。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

美術館評価調書

(その6)

帯広美術館

【基本的運営方針】 F 良好な滞在環境の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント（評価の考え方）
附帯施設の充実度	レストラン・喫茶利用者の満足度	75.0%	72.9%	97.2%	c	当館ボランティア「しらかばの会」と連携し、サービス向上に努めており、展覧会に合わせた特別メニューの提供や物販の品揃えにより、利用者満足度は高かった。
	ミュージアムショップ利用者満足度	78.0%	83.6%	107.2%		
	事業者と協力してのサービス向上の実践					
館のホスピタリティ	館内スタッフの対応に関する利用者の満足度	92.0%	94.0%	102.2%	b	展覧会ごとに職員、監視ボランティアへのガイダンスを行い、留意事項等を確認している。また、アンケートに書かれた意見等を取り入れながら、スタッフ対応の改善を図っている。
	ホスピタリティ向上に向けた取組み					
施設環境の保持	施設内外の環境への満足度	92.0%	93.7%	101.8%	b	<ul style="list-style-type: none"> 館内表示等は美術館の雰囲気を損ねないよう工夫しており、清潔感、雰囲気に関するアンケートの評価は高い。 日常の点検、巡回等により安全保持や環境整備に努めている。
	施設安全性保持のための必要な措置					

【基本的運営方針】 Fの評価

評価	コメント（評価の考え方）
B	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの協力を得ながら良好な滞在環境の提供に努めており、目標は概ね達成できている。 施設老朽化のため環境整備に苦慮しているが、計画的に修繕を進め、安全確保や美術館にふさわしい環境づくりに努める。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標（計画）を達成している	b	B
目標（計画）をほぼ達成している	c	C
目標（計画）を達成できていない（努力が必要）	d	D
方法に再検討が必要	e	E